



■横市地区まちづくり協議会の動き

- 12/15: 運営委員会
- 1/5 : 横市地区はたちの集い
- 1/20 : まちづくり協議会意見交換会
- 1/23 : 母智丘公園清掃活動実行委員会
- 1/25 : 熱気球搭乗体験(荒天中止)
- 2/18 : 第5回広報委員会
- 2/27 : 広報よこいち91号発行

■横市地区まちづくり協議会の予定

- 3/8 : 第5回母智丘公園清掃活動
- 3/28 : 都城もちお桜まつり
第14回 さくら福男・さくら福女
- 3/29 : 都城もちお桜まつり
もちお公園スタンプラリー
- 4/1 : 広報よこいち92号発行

◆母智丘神社 鏡開き

さくら共和国 赤塚 隆志

1月11日 日曜日、朝9時よりさくら共和国主催の母智丘神社恒例の鏡開き、ぜんざいの振る舞いを行いました。

さくらのメンバー10人ほどで約230杯のぜんざいを準備しました。前夜から小豆の下拵えや段取りをしました。たくさんの参拝客が訪れ、お昼までには全部、提供できました。

毎年、天気には恵まれており、皆様の今年一年の無病息災を祈念しました。来年もまた実施していきたいと思ひます。



◆公民館加入促進の取り組みについて

自治公民館活動部会 部長 徳重 修一

自治公民館活動部会では、近年の公民館加入率の低下を受け、令和7年度に加入促進の取り組みを行いました。

自治公民館は、防犯灯の設置や消防団活動費の負担など、地域の安全で安心な暮らしを支える役割を担っています。しかし、公民館を支えてくださっている方々の高齢化も進んでおり、将来に向けた取り組みが必要となっています。

今年度は、市が作成した加入促進用パンフレットを活用し、未加入世帯への訪問を行いました。

7月には94件、10月には43件を訪問し、活動内容の説明や公民館加入のご協力をお願いしました。その結果、7月は2件の加入につながりましたが、10月は加入には至りませんでした。訪問の中には、厳しい対応を受ける場面もありました。

活動を通じて、公民館の役割や活動内容が十分に伝わっていないこと、加入に対する負担感があることなど、さまざまな課題が見えてきました。

未加入者は、未来の加入者と前向きにとらえ、今後も丁寧な対話を大切にしながら、公民館活動への理解を少しずつ広げていきたいと考えています。

◆広報よこいち91号写真サイト



広報よこいち91号は、「はたちの集い」「母智丘神社鏡開き」「パークゴルフ」の写真を載せてあります。スマホからQRコードを検索してみてください。

◆第5回母智丘公園清掃活動

開催日 3月8日(日) 予備日3月15日(日)
時間 9:00~11:00
場所 母智丘公園一帯

■横市まち協 公募委員募集■

横市地区まちづくり協議会の専門部会に参加して下さる方を募集いたします。
募集期間 2/15~3/15 まで
問合せ先 070-2406-3294(事務局長 原田まで)

◆令和7年度横市地区はたちの集い

はたちの集い実行委員会会長 柏木 健一郎

令和7年度「横市地区はたちの集い」で二十歳の門出を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

本日の二十歳の皆さんの姿をご覧になり、ご家族の方々は感慨深いお気持ちで一杯のことと推察いたします。ご家族の皆様にとっては、20年前の誕生時の喜び、その子が歩き始めた時の感動、幼稚園や保育園への入園、そして小学校・中学校の入学式、高校・大学等への進学、さらに社会人としての第一歩を踏み出した時など、一つ一つの出来事が脳裏を駆け巡っていることと思います。



「横市地区はたちの集い」企画運営に携わった皆さん

この「はたちの集い」は、横市地区において実行委員会を立ち上げ、実行委員のみなんで計画を練り上げ、作り上げてまいりました。二十歳の実行委員の皆さんは、一生に一度の式典を自らの手で作り上げ、心に残るものにしたい。そして、お世話になった家族や学校、地域の皆様に感謝の気持ちを表したいと熱心に取り組んでおりました。その姿は頼もしく、横市の、都城の未来は明るいと感じたところです。このように二十歳の実行委員の熱い思いと、地域の皆様方のご理解とご協力により、本年の「はたちの集い」が実現しました。

二十歳の皆さんは、これからの横市、都城を担って頂く人たちです。今後の人生には、幾多の困難が待ち受けているかもしれませんが、研鑽・努力を欠かさず、目標に向かい邁進し、輝かしい未来を作り上げていかれることを、ご祈念申し上げます。

さて、私から人生の先輩として皆さんにお話ししたいことがあります。

一つ目は、選挙権の行使についてです。1月25日は、都城市議会議員選挙の投票日です。投票は、成人の権利です。選挙権は与えられた義務ではなく、先人たちが汗と行動により獲得した権利です。選挙・投票は民主主義の入口です。政治に対して、自分の意思を表明して、社会に対して責任を果たしましょう。投票は政治に対する唯一・最大の意思表示です。

二つ目は、税金です。仕事に熱心に取り組み、知恵と労働を極め、正しい報酬を得ることに力を尽くして、大いに稼ぎましょう。そして、税金として社会に貢献しましょう。納税は国民の義務です。また、納税した税金は行政資金として使われるまで自分のものです。使われ方が正しいか、正しくないか、しっかり見極めて、このことについても投票で意思表示しましょう。

三つ目は、都城市には素晴らしい「市民憲章」があります。その一つに、「人を思いやる心を持ち、ともに歩んでいける社会を作りましょう。そして、自分にできることを見つけ、今日の努力を明日の夢につなげましょう」という一節があります。これは地域の人々の助け合いの気持ちを表し、仲間づくりでまちづくりをしようという精神を表しています。

この憲章の精神を思い出して実践して共助の社会を目指しましょう。きっと、素晴らしい人生を送ることができるものと思ひます。

結びに、本日の主役二十歳を迎えられた皆さんが、いずれの日にか横市・都城の社会の担い手となり、地域づくりに貢献していかれまことを期待申し上げます。

1月5日(月)文化ホールで開催の実行委員会会長挨拶です。

■編集委員のつぶやき

環境整備部会 書記 三好 久夫

環境整備部会の書記係になって1年が過ぎようとしています、書記係は「広報よこいち」の広報委員にもなります。

委員は、まち協会長・事務局長・各専門部会の書記係の合計7名体制で校正されています。2か月に1回の頻度で編集会議を行い原稿の構成等を行います。

環境整備部会では、令和7年度行事として、2回の巡回パトロールを実施しました。各公民館ともに綺麗に整理されておりました。

私は和田自治公民館の館長を仰せつかりもうすぐ1年が過ぎようとしておりますが、横市地区の公民館を初めて訪問しましたが、すべての公民館において整理・整頓がなされており感心いたしました。

まだまだ寒い日が続きますが、インフルエンザ等が流行っておりますので、外出時には、マスクを着用するなど、風邪にかからないように、体調面には十分に気を付けてお過ごし下さい。